

天性胆道拡張症の1例. 第62回臨床外科学会総会, 2000, 11, 名古屋.

- 31) 坂東 正, 清水哲郎, 霜田光義, 塚田一博: 腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行し得た急性膵炎ドレナージ術後胆石症の1例. 第13回日本内視鏡外科学会総会, 2000, 12, 大阪.

◆ その他

- 1) 増田 明: 足りない県内の麻酔科医. 北日本新聞, 2000年5月25日付.
2) 増田 明: 病気の根絶-21世紀の手術の姿-. 富山県民生涯学習カレッジ 広域キャンパス講座「21世紀への展望」, 2000, 5, 富山.

歯 科 口 腔 外 科 学

教 授	古 田	勲
助教授(前)	岩 井	正 行
助 手	和 田	重 人
助 手	伊 藤	重 人
助 手	今 村	知 代
助 手	姚	立
技 官	森 川	正 俊

◆ 原 著

- 1) 古田 勲: 口腔癌術後機能障害の評価と治療. 口腔腫瘍誌, 11: 333-337, 1999.
2) 和田重人, 岳 麗華, 川上由美, 高橋勝雄, 竹口英人, 高櫻武史, 小杉弘美, 岩井正行, 古田勲: 菌原性腫瘍109症例の臨床統計. 口腔腫瘍誌, 12: 47-53, 2000.
3) 木下鞆彦, 横矢重俊, 水谷成孝, 水沼秀之, 井上 聡, 天笠光雄, 工藤啓吾, 長山 勝, 岡部貞夫, 戸塚靖則, 古田 勲: 吸収性生体材料ポリ-L-乳酸と自家骨髓海綿骨細片移植による顎骨再建部へのインプラント応用. 頭頸部腫瘍誌, 26: 525-530, 2000.
4) Yao L., Zhao Y., Itoh S., Wada S., Yue L., Furuta I.: Thrombospondin-1 expression in oral squamous cell carcinomas: correlations with tumor vascularity, clinicopathological features and survival. Oral Oncology., 36: 539-544, 2000.
5) 和田重人, 古田 勲: 外歯瘻の臨床的検討-特に病悩期間, 来院経路および原因歯に関して-. 富山医薬大医誌, 13: 57-62, 2000.

◆ 症例報告

- 1) 和田重人, 古田 勲, 小杉弘美, 椎名美子, 高橋勝雄, 中山圭子: 歯牙種を伴ったGardner症候群の1例. 日口科誌, 49: 363-366, 2000.

◆ 学会発表

- 1) 伊藤重人, 小杉弘美, 岳 麗華, 姚 立, 岩井正行, 古田 勲: 高齢者舌癌の臨床病理学的検討. 第18回日本口腔腫瘍学会総会, 2000, 1, 名古屋.
2) Wada S., Tazawa K., Furuta I., Takemori S., Minamimura T., Nagae H.: Inductive heating using dextran magnetite complex(DM) for tongue Cancer. The 8th international congress of hyperthermic Oncology, 2000, April, Korea.
3) Tazawa K., Takemori S., Minamimura T., Saito T., Wada S., Nagae H.: Inductive heat-

- ing with use of dextran magunetite(DM) particle. The 8th international congress of hyperthermic Oncology, 2000, April, Korea.
- 4) 井上さやか, 伊藤重人, 岩井正行, 古田 勲, 岡田英吉: 頬粘膜に発生した孤立性神経線維腫の1例. 第54回日本口腔科学会総会, 2000, 5, 東京.
 - 5) 津野宏彰, 伊藤重人, 古田 勲: 若年者における顎関節症患者の検討—保存的治療の経過について—. 第54回日本口腔科学会総会, 2000, 5, 東京.
 - 6) 趙 英らん, 伊藤重人, 和田重人, 姚 立, 古田 勲: 口腔扁平上皮癌におけるTSP-1発現に関する臨床病理組織学的検討. 第54回日本口腔科学会総会, 2000, 5, 東京.
 - 7) 和田重人, 古田 勲, 田澤賢次, 竹森 繁, 南村哲司: 誘導磁場を応用した口腔癌温熱療法の基礎的研究. 第13回富山癌治療懇話会, 2000, 5, 富山.
 - 8) 高櫻武史, 伊藤重人, 森川正俊, 古田 勲: 上顎欠損症例における顎補綴の検討. 第17回日本顎顔面補綴学会総会, 2000, 5, 福島.
 - 9) 椎名美子, 高櫻武史, 伊藤重人, 古田 勲: 両側サイナスリフト後にインプラントを応用して咬合再建を行った2例. 第17回日本顎顔面補綴学会総会, 2000, 5, 福島.
 - 10) 和田重人, 高橋勝雄, 小杉弘美, 中山圭子, 今村知代, 山岸美智子, 古田 勲: 対称性に生じたオトガイ部外歯瘻の1例. 第25回日本口腔外科学会中部地方会, 2000, 5, 浜松.
 - 11) 小杉弘美, 古田 勲, 和田重人, 小野 繁: 頬脂肪体有茎弁を用いて再建した口腔悪性腫瘍症例の検討. 第25回日本口腔外科学会中部地方会, 2000, 5, 浜松.
 - 12) 岳 麗華, 古田 勲, 伊藤重人, 姚 立, 和田重人: 口腔癌におけるAgNORs好銀性蛋白およびp34cdc2細胞周期関連蛋白の発現について. 第25回日本口腔外科学会中部地方会, 2000, 5, 浜松.
 - 13) 和田重人, 田澤賢次, 古田 勲, 竹森 繁, 南村哲司, 長江英夫: 口腔癌を標的とした新しい誘導加温法に関する基礎的研究. 北陸温熱療法懇話会, 2000, 8, 金沢.
 - 14) 今村知代, 高櫻武史, 古田 勲: 心身症とインプラントの適応診断基準—各臨床医への問題定義—. 第30回日本口腔インプラント学会総会, 2000, 9, 東京.
 - 15) 伊藤重人, 古田 勲, 高櫻武史, 椎名美子, 今村知代: 上顎難症例に対するインプラント治療—両側同時サイナスリフトの適用. 第30回日本口腔インプラント学会総会, 2000, 9, 東京.
 - 16) 田澤賢次, 五十嵐功一, 南村哲司, 和田重人, 長江英夫: デキストランマグネタイトを用いる誘導電磁波による簡易型誘導加温装置の開発. 第17回日本ハイパーサーミア学会総会, 2000, 9, 新潟.
 - 17) 和田重人, 高橋勝雄, 高櫻武史, 山岸美智子, 今村知代, 古田 勲: 当科における外歯瘻の臨床的検討—来院経路を中心に—. 第45回日本口腔外科学会総会, 2000, 10, 千葉.
 - 18) 津野宏彰, 和田重人, 三田村治郎, 古田 勲: 高齢者に発生した巨大な辺縁性化骨性線維腫の1例. 第45回日本口腔外科学会総会, 2000, 10, 千葉.
 - 19) 今村知代, 山岸美智子, 伊藤重人, 古田 勲: 舌痛症の臨床統計的検討. 第45回日本口腔外科学会総会, 2000, 10, 千葉.
 - 20) 古田 勲: 顔面補綴とインプラント治療について. 第4回日本顎顔面インプラント学会総会, 2000, 10, 横浜.
 - 21) 高櫻武史, 伊藤重人, 津野宏彰, 今村知代, 古田 勲: 骨移植を併用したインプラント症例についての臨床的検討. 第4回日本顎顔面インプラント学会総会, 2000, 10, 横浜.
 - 22) Yao L., Furuta I., Itoh S., Wada S., Odake H.: Correlations of Bcl-2 and p53 expression with The clinicopathological features in tongue squamous cell carcinomas. 5th International Symposium on Predictive Oncology and Therapy, 2000, October, Switzerland.
 - 23) 椎名美子, 今村知代, 和田重人, 河内和美, 小杉弘美, 古田 勲, 寺島龍一: 糖尿病患者における重篤な菌性感染症の2例. 第43回日本口腔科学会中部地方会, 2000, 11, 名古屋.
 - 24) 河内和美, 和田重人, 前田美代子, 古田 勲: 当科における舌, 口唇, 頬小帯異常患者の臨床的検討. 第43回日本口腔科学会中部地方会, 2000, 11, 名古屋.
 - 25) 姚 立, 伊藤重人, 古田 勲: 舌癌におけるp53およびGST- π 発現の検討(術前化学療法効果と関連性について). 第43回日本口腔科学会中部地方会, 2000, 11, 名古屋.
 - 26) 前田美代子, 和田重人, 津野宏彰, 高櫻武史, 桐原秀敏, 三田村治郎, 河内和美, 古田 勲: 有病者の歯科口腔外科的診療に関する臨床統計—精神科からの紹介患者について—. 第43回日本口腔科学会中部地方会, 2000, 11, 名古屋.

- 27) 河内和美, 古田 勲: 当科における過去2年間の悪性腫瘍患者の検討. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 28) 山岸美智子, 古田 勲: 口腔乾燥症と和漢薬について. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 29) 今村知代, 古田 勲: 心身症とインプラントの適応. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 30) 伊藤重人, 古田 勲: 両側同時サイナスリフトとインプラント. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 31) 椎名美子, 寺島龍一, 古田 勲: 糖尿病患者における重篤な菌性感染症の2例. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 32) 高橋勝雄, 古田 勲: アンチトロンビン異常富山患者の顔面外傷の1例. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 33) 井上さやか, 古田 勲: 頬粘膜に発生した孤立性神経線維腫の一例. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 34) 津野宏彰, 古田 勲: 高齢者に発生した巨大な辺縁性化骨性線維腫の一例. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 35) 今村知代, 古田 勲: 局所麻酔薬アレルギーを主訴に来科した15症例の検討. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 36) 伊藤重人, 古田 勲: 高齢者舌癌の臨床病理学的検討. 第7回アルペン口腔科学フォーラム, 2000, 11, 富山.
- 37) 高石樹朗, 石崎善司, 高田義美, 山河ガブリエラ, 古田 勲, 許 南浩: 新規膜蛋白質1C10の解析. 第23回日本分子生物学会年会, 2000, 12, 神戸.

◆ その他

- 1) 和田重人, 竹口英人, 高櫻武史, 小杉弘美, 高橋勝雄, 古田 勲: 歯牙種の臨床統計. 近畿北陸地区歯科医学大会誌, 52: 23-26, 2000.
- 2) 椎名美子, 和田重人, 高橋勝雄, 石井義人, 竹口英人, 古田 勲: 当科における血管腫の臨床病理学的検討. 近畿北陸地区歯科医学大会誌, 52: 27-30, 2000.
- 3) 長沢勝将, 和田重人, 小杉弘美, 伊藤重人, 佐渡忠司, 古田 勲: 下顎に再燃した腰椎原発悪性リンパ腫の1例. 近畿北陸地区歯科医学大会誌, 52: 31-34, 2000.

臨床検査医学

教授	北 島	勲
教授(前)	櫻 川	信 男
助 教 授	小 方	則 夫
助 手	小 澤	哲 夫

◆ 研究概要

生活習慣病, 血管新生病の転写因子発現異常を介した分子病態解析. B型肝炎ウイルス表面抗原変異と感染性・病原性の研究. 先天性凝固異常症の分子病態

◆ 著 書

- 1) 小澤哲夫: アンチトロンビン, 「抗凝固薬の適正使い方」櫻川信男, 青崎正彦, 上塚芳朗, 和田英夫編, 233-242, 医歯薬出版, 東京, 2000.

◆ 原 著

- 1) Yamakuchi M, Higuchi I, Masuda S, Ohira Y, Kubo T, Kato Y, Maruyama I: Type I muscle atrophy caused by microgravity-induced decrease of myocyte enhancer factor 2C (MEF2C) protein expression. FEBS Lett. 477: 135-140, 2000.
- 2) Saker KP, Obara S, Nakata M, Kitajima I, Maruyama I: Anandamide induced apoptosis of PC12 cells. Involvement of superoxide and caspase-3. FEBS Lett. 472: 39-44, 2000.
- 2) Wang Y, Liu Y, Sarker KP, Nakashima M, Serizawa T, Kishida A, Akashi M, Nakata M, Kitajima I, Maruyama I.: Polymyxin B binds to anandamide and inhibits its cytotoxic effect. FEBS Lett. 470: 151-155. 2000.
- 3) Kabata T, Kubo T, Matsumoto T, Nishino M, Tomita K, Katsuda S, Horii T, Nuto N, Kitajima I.: Apoptotic cell death in steroid-induced osteonecrosis: An experimental study in rabbits. J. Rheumatol. 27: 2166-2171, 2000.
- 4) Kabata T, Matsumoto T, Nishio M, Horii T, Kubo T, Kitajima I, Tomita K.: Histopathological and immuno-histochemical study of femoral bone and bone marrow tissue in steroid treated rabbit. J. Neurol Orthop Med Surg 20: 41-46, 2000.
- 5) Hayakawa Y, Hayashi T, Jung-Bum Lee, Ozawa T, Sakuragawa N.: Activation of heparin cofactor II by calcium spirulan. J.